

平成26年度 木祖村ふるさと納税報告書

ご寄附をいただいた皆様へ

このたびは全国各地の皆様から長野県木祖村へふるさと納税のご寄附を賜りまして誠にありがとうございました。村民を代表し、深く感謝申し上げます。

平成26年度は過去最多となる29名の皆様から123万5040円のご寄附をいただき、平成20年度の制度開始以来、総額で813万8000円となりました。お寄せいただきました貴重な寄附金は、木曾川源流の里木祖村の進める源流の里づくりに活用させていただきました。

今回、全国の皆様の御厚意によるふるさと納税寄附金がどのように使われているかご説明させていただきます。多くのご意見をお寄せいただき、皆様とともにむらづくりを進めていく所存でございますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成27年11月

木祖村長 唐澤 一寛

平成26年度 寄附の状況

◆合計金額 1,235,040 円

◆寄付件数

個 人 28 件
法人・団体 1 件

◆使途別内訳

使 途	件数	金額（円）
①森林整備・水源涵養・自然環境・景観の保全	16	356,040
②高齢者福祉、医療・健康推進の充実	1	10,000
③美しく豊かな自然環境と魅力的な景観づくり	1	30,000
④ふるさととの伝統と文化を守る	0	0
⑤産業振興	0	0
⑥村づくり全般	11	839,000
計	29	1,235,040

◆地域別内訳

地 域	件数	金額（円）
愛 知 県	18	500,040
神 奈 川 県	3	515,000
東 京 都	2	60,000
長 野 県	2	60,000
大 阪 府	1	55,000
福 岡 県	1	30,000
岩 手 県	1	10,000
北 海 道	1	5,000
計	29	1,235,040

寄附の使途

下記の事業の一部に皆様からのご寄附を充当させていただきました。

木曽川源流の森林育成基金への積立

木曽川源流の里木祖村の広葉樹林等の育成を進め、水源涵養と上下流交流の象徴となる景観の森林を育成するために基金積み立てを行い、必要に応じ活用します。上下流交流事業が末長く推進されることを象徴する基金です。

◆平成 26 年度 水源林公有林化支援事業

事業費 4,481,835 円

うち木曽川源流の森林育成基金：2,800,000 円

森林づくり県民税補助金：1,419,000 円

一般財源： 262,835 円

近年外国資本などが水源地周辺の山林を買占め、水源地の乱開発を行うなどの事例が北海道をはじめ全国的に広がっており問題視されています。

木曽川の最上流に位置する当村では、そのような問題を未然に防ぐために、木曽川源流の森林育成基金と長野県森林づくり県民税の補助金を活用させていただき、水源地（太平第 1、第 2 水源）を公有林化する事業を実施させていただきました。これにより水源地が守られ、恒久的に住民の皆さんへ綺麗で美味しい水を供給していくことができるようになりました。

これからも住民の方に綺麗で美味しい水を安定的に供給するために、源流の里木祖村水道水源保全条例に基づき、公有林化した水源地は村で適切な管理・保全をしていきます。

水源林公有林化取得費（大字菅大平地区）

・土地売買取得 計 10 筆 8,871 m²

・立木売買取得 264.39 m³



公有林整備事業

◆木曽川「水源の森」森林整備協定推進事業

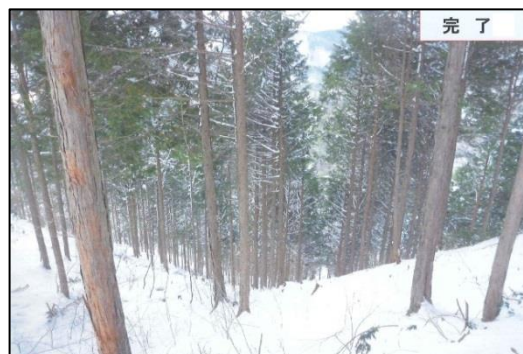
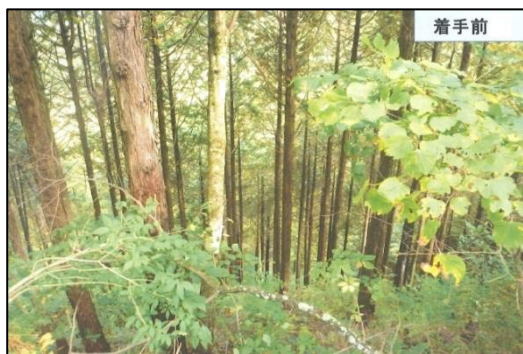
木曽川の上下流域住民が一体となり水源地域の森林を整備し、健全な水環境社会の構築に向けた取り組みを行なうため、木曽広域連合（木祖村を含む木曽郡6か町村で構成）と愛知中部水道企業団（愛知県中部の2市3町で構成）の間に、平成15年に木曽川「水源の森」森林整備協定を締結しました。

これを機に、上流も下流も住民が使用する水道水1立方メートルにつき1円を積み立てた基金（下流域の「水道水源環境保全基金」と上流域の「木曽森林保全基金」）を活用して、平成17年度から木曽地域の森林整備（間伐、路網整備、鳥獣被害対策等）を進めています。平成26年度までの10年間に、約8,000haの民有林が整備され、順調に「水源の森」づくりが進んできています。

また、村発注事業部として村有林の搬出間伐等を実施しました。

（愛知中部水道企業団）
給水人口：約31万人
平成13年6月よりスタート
水道使用量1t当たり1円を積み立て
年間 約3,200万円

（木曽広域連合）
管内人口：約2万9千人
平成16年3月よりスタート
水道使用量1t当たり1円を積み立て
年間 約330万円



①「平成26年度 森林造成事業 村有林（鳥居峠団地）搬出間伐事業」

事業費 3,164,400円
うち信州の森林づくり事業補助金：2,214,800円
伐倒木売払金： 560,000円
一般財源： 389,600円

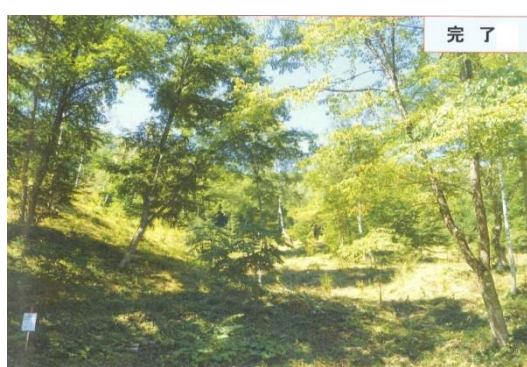
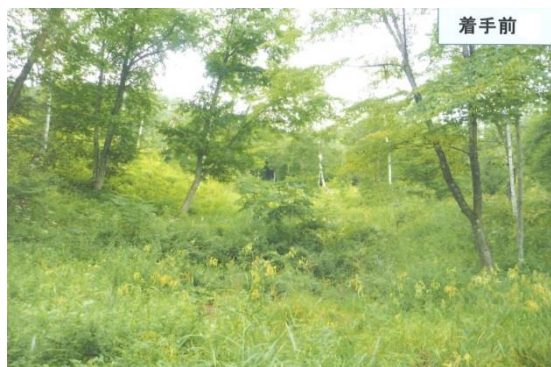
内容：村有林 鳥居峠団地 8haの搬出間伐を実施。

ひのき他 約160m³を搬出。

②「平成26年度 公有林整備事業（こだまの森下刈り）」

事業費 432,000円
うち信州の森林づくり事業補助金：302,200円
一般財源：129,800円

内容：平成20年度に木曽郡植樹祭で植樹をした箇所の下刈り作業を実施。2.59ha



プレママサポート事業

◆ 妊婦健診推進事業

妊娠期は、生涯にわたる健康づくりの基盤となる時期ですが、精神的にも身体的にも健康状態が変化しやすい時でもあります。健やかな妊娠期間を過ごし、出産を無事に乗り切るためには、妊婦健診は欠かせないものですが、妊娠期間中に受診する妊婦健診は、14 回あり、費用が約 12 万円程掛かり、個人の負担は多大となっています。妊婦の経済的負担を軽減することで、安心して出産し、ゆとりを持って子育てができるよう、すべての妊婦健診について助成を行っています。また、妊娠中の歯科健診や、お母さんの産後健診の費用負担についても軽減できるよう一部助成を行っています。

○平成 26 年度 妊婦健診推進事業の実施状況

事業費 2,048,070 円
助成件数： 412 件
内 容 ： 一般健診・血液検査・超音波検査など

○妊娠届の状況（母子健康手帳交付数）

区 分	平成 25 年度	平成 26 年度	対前年度比
妊娠届受付件数	18	22	+4
うち初産	4	5	
うち経産	14	17	

◆ 不妊治療助成事業

不妊治療は精神的・経済的・身体的負担が伴うため、相談事業と共に、医療費の一部を助成する事で、治療を行っている夫婦の経済的負担を軽減し、子どもを持ちたい夫婦の希望が叶えられるよう、支援を行っています。対象者は、夫婦間に第 1 子及び第 2 子がない場合で、医療機関にて適切な不妊治療を受けた方につき医療費総額の 1/2 を助成しています。

○平成 26 年度 不妊治療助成事業の実施状況

事業費 517,832 円

予防接種事業

◆村独自の任意予防接種補助事業

予防接種は、感染症にかかる前にワクチンによって免疫をつけ、感染症の発症を予防または、軽減化することにあります。ワクチンで予防できる感染症が増えてきているため、国で定めた定期予防接種に対する補助と、村独自の任意予防接種に対する補助事業を実施し、重篤な感染症の予防及び、村民の経済的負担が軽減されるよう支援しています。子育て支援策の一環でもある小児任意予防接種補助事業は、保護者のみなさまからも、喜びの声が寄せられている事業のひとつです。

○平成 26 年度 予防接種補助事業

事業費 4,653,536 円

対象となる予防接種

区 分	小児関係	高齢者関係
定期予防接種	Hib・小児肺炎球菌・四種混合・麻疹風疹・BCG・水ぼうそう・日本脳炎・HPV	季節性インフルエンザ・肺炎球菌ワクチン（65・70・75・80・85・90・95・100 歳の方）
任意予防接種	小児おたふく風邪・妊婦と家族に対する風疹	肺炎球菌ワクチン（65 歳以上 100 歳未満で心臓疾患等、医師が必要と認めた方）